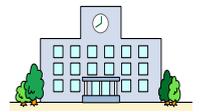




「令和」の時代の幕開けとともに

新緑のさわやかな風の訪れとともに「令和」の時代が幕を開けました。教育界においても新教育課程に向けての準備が本格的に始まり、まさに新しい時代への扉が開かれようとしています。新しい時代への期待に胸が高鳴ります。



さて、例年になく大型連休が終わりました。休みが明けると同時に、行事の準備や部活動の大会に向けた忙しい日々が続いていることと思います。万全な体調で取り組めるよう、子どもたちとともに先生方ご自身の体調管理にも気を付けてください。

また、5月は子どもたちの様子に変化が起こりやすい月です。新たな環境に慣れ始めたとはいえ、まだまだ緊張や不安が生じる時期です。子どもたちの何気ない表情や行動に目を向け、たとえ小さな変化であっても職員間で情報を共有していくことが大切です。早期発見、迅速で組織的な対応を念頭に置いた支援をお願いいたします。



【5月の予定】

※ 時間のみ記載の研修会の場所は下野市役所です。

※ ○市教育研究所主催行事 ○市関係行事 ○学校関係行事 ○その他

日	月	火	水	木	金	土
栃木県では5月よりクールビズを推進しています。学校での勤務だけでなく、校外での研修会参加の際も、ノーネクタイでご参加ください。			1 即位の日	2 国民の休日	3 憲法記念日	4 みどりの日
5 こどもの日	6 振替休日	7	8 ALT研修①	9 栄養教諭・学校栄養職員研修会 9:00 下地区学校保健会総会	10 下地区中学校春季体育大会 ~12日	11
12	13 情報教育推進委員会 南河内二中 13:00 情報教育研究会 南河内二中 14:00	14 児童・生徒指導推進中央研修会 (教育会館)	15 小中一貫の日 (南河内中学区・南河内二中学区)	16 小学校社会科副読本の活用研究 15:00 アレルギー研修会 (国分寺中 14:30)	17	18 運動会(細谷小)
19 大松山運動公園オープニングセレモニー	20 定例教育委員会	21 児童・生徒指導研修会 14:00 下地区学校保健主事部会研修会・総会 ゆうがお CAFE 17:30	22 定例校長会議 9:00 小中一貫の日 (国分寺中学区)	23 下地区特別支援教育研究協議会総会 (国分寺公民館)	24 下地区教育相談連絡会研修会 (小山市桑市民交流センター14:10)	25 運動会(祇園小・緑小・石橋小・古山小・石橋北小・国分寺小・国分寺東小) 体育祭(南河内中)
26	27	28 特別支援教育コーディネーター研修 15:00	29	30 第1回教科書選定委員会 14:00	31	

図書館教育担当者・学校生活支援員(図書)研修会



4月23日(火)に緑小学校図書室にて図書館教育に関する研修を開催しました。昨年度より、生涯学習文化課との共催にて実施しています。家庭訪問もあり忙しい時期の実施ではありますが、年度当初に実施することで学校図書館の活性化を図り、1年間の運営を見通すことを目的としています。

研修では、緑小学校佐藤図書支援員、大島情報教育アドバイザー、石橋図書館伊澤館長補佐から図書館業務に関わるお話を伺い、その後、市内各図書館の職員の方々の進行によりグループ協議や情報交換を行いました。日常の授業での利活用の様子や必読図書の選定方法、読書週間の具体的な実施内容などが話題にのぼり、豊かな読書生活のため、市内各施設や学校全体で図書館教育に取り組んでいる様子が伺えました。

なお、研修会で紹介した「読売ワークシート通信」については、以下のサイトにて登録ができますので、併せてご活用ください。登録には、メールアドレスが必要になります(学校、個人どちらでも登録できます)。

<https://kyoiku.yomiuri.co.jp/sanka/>



調査問題を授業改善に活用しましょう!

4月18日(木)に「全国学力・学習状況調査」並びに「とちぎっ子学習状況調査」が実施されました。先生方には、事前の準備や確認、実施後の取りまとめ等大変お世話になりました。

連休等を利用して調査問題を解いてみた先生もいらっしゃるかと思います。実は、調査問題には授業改善に向けたメッセージが込められています。「問題を解けるようになるために何をさせるか」という視点ではなく、「求められている力を身に付けられるためにどのような授業を実践していくか」という視点から調査問題をみていくことで、先生方ご自身のスキルアップや、組織としての授業力の向上につなげることができます。

国の「解説資料」や県の「学力向上通信」も参考になります。併せてご覧ください。



国立教育政策研究所のホームページからダウンロードできます。

SchoolDesktopの「パワーアップシート」のタブからリンク先につながります。

【県「学力向上通信」(平成30年度 第1号)より抜粋】

授業改善に役立てるために、調査問題をみる視点

調査問題をみてみると、その流れや問い方、正答の条件や解答類型は、授業そのものであるとみることができます。つまり、「調査問題の流れ」は授業の展開例、「問い方」は授業における発問例、「正答の条件」については、評価する際の判断の規準例、解説資料などにある「解答類型」は授業で想定される児童生徒の反応としてみるすることができます。

○問題の流れ → 授業展開

○問い方 → 発問

○正答の条件 → 評価する際の判断規準

○解答類型 → 児童生徒の反応